

ケアの倫理を グローバル社会へ

—上野千鶴子・宇野重規と、岡野八代著『フェミニズムの政治学』を読み解く—

日 時：2012年10月22日（月） 18：00～20：30

開場：17：30 開演：18：00

場 所：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール

参加費：無料

登壇者：

岡野八代（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授）

宇野重規（東京大学大学社会科学研究所 教授）

上野千鶴子（立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授

NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長）

〈司会〉大沢真理（東京大学社会科学研究所 教授）

お申し込み・お問合わせ先：officegcoe@gmail.com

（土日のご返信は対応しかねますのでご了承ください）

（お申し込みの際は10月22日シンポジウム申込みと件名に明記してください）

主 催：東大社研 GCOE（東北大学グローバル COE プログラム

「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」東京大学社会科学研究所連携拠点）

本郷キャンパス 小柴ホール



※春日門についてはH24年8月1日～H26年2月（予定）まで通行止めとなりますのでご注意ください

【会場地図】

東京大学本郷キャンパス 小柴ホール

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-3-1

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html

登壇者プロフィール

岡野 八代（おかの・やよ）

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授。西洋政治思想史・現代政治理論。『法の政治学』（青土社、2002年）、『シティズンシップの政治学（増補版）』（白澤社、2009年）、『ケアの倫理からはじめる正義論 支えあう平等』（白澤社、2011年）ほか。

宇野 重規（うの・しげき）

東京大学社会科学研究所教授。政治思想史、政治哲学。『政治哲学へー現代フランスとの対話』（東京大学出版会、2004年）、『トクヴィル 平等と不平等の理論家』（講談社選書メチエ、2007年）、『〈私〉時代のデモクラシー』（岩波新書、2010年）、『デモクラシーの擁護』（共著、ナカニシヤ出版、2011年）ほか。

上野 千鶴子（うえの・ちづこ）

立命館大学特別招聘教授。東京大学名誉教授。社会学、ジェンダー論。『家父長制と資本制ーマルクス主義フェミニズムの地平』（岩波現代文庫、2009年）、『不惑のフェミニズム』（岩波現代文庫、2011年）、『ケアの社会学ー当事者主権の福祉社会へ』（太田出版、2011年）ほか。

大沢 真理（おおさわ・まり）

東京大学社会科学研究所教授。経済学、社会政策。『イギリス社会政策史ー救貧法と福祉国家』（東京大学出版会、1986年）、『企業中心社会を超えてー現代日本を〈ジェンダー〉で読む』（時事通信社、1993年）、『現代日本の生活保障システムー座標とゆくえ』（岩波書店、2007年）、*Social Security in Contemporary Japan: A Comparative Analysis*, Routledge /University of Tokyo Series, 2011 ほか。

東大社研 GCOE プログラム連携拠点

東北大学 GCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」の東京大学社会科学研究所連携拠点として、2008年度からスタート。性別、年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが人格と個性を尊重され、フルに参加できる社会を実現する条件は何か。「生活保障システムの比較ジェンダー分析」「人間の安全保障と人身取引問題」「企業の人材活用におけるワーク・ライフ・バランス支援と男女雇用機会均等施策の効果に関する実証的研究」の三つのプロジェクトを柱に、このグローバルな課題に挑戦している。連携拠点リーダーは大沢真理東京大学社会科学研究所教授。